

第72回全日本学生バドミントン選手権大会 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

作成：関西学生バドミントン連盟
承認：全日本学生バドミントン連盟

本大会は、日本バドミントン協会「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン (https://www.badminton.or.jp/covid-19/docs/ActivityGuidelinesChapter3_20210210.pdf)」に準じて実施します。その他、補足事項は以下のとおりとします。

1. 体調管理

① 2週間前の健康チェックリストの提出

- 選手だけでなく、チームスタッフ、大会運営スタッフなど、会場に來場する全ての方を対象に、2週間前からの毎日の検温、体調管理を健康チェックリストにて実施すること。提出方法は、各チーム単位で取りまとめ、提出する（提出方法は別途指示）。

② 当日の検温

- 大会開始（15日）以降については、毎朝、起床時の体温をチーム単位で取りまとめ、毎日受付にて提出すること。37.5℃を超える場合は、來場しないこと。
- 入館時にも非接触型体温計にて検温を実施する。非接触型体温計での検温で基準を超えた場合、接触型体温計で再検温を行う。再検温で37.5℃を超える場合は、入館及び大会に参加することはできない。

2. 参加者の管理

- 本大会は無観客で実施する。入場できるものは下記の通りとし、事前の申請(大会参加者連絡先一覧)に記載にあった者のみ入場を可能とする。チーム構成員の親や兄弟、友人等は含まない。
団体戦：参加資格にあるチーム構成員、トレーナー、審判要員（上限2名）
個人戦：部長、監督、コーチ、選手、トレーナー、審判要員（エントリー数につき1名まで）
- 各大学の広報担当者も入場を認めるが、各大学1名程度とする。本部にて受付しビブスを着用すること。
- 個人戦期間においては、団体戦出場選手がチーム選手の応援を目的に入場することはできない（個人戦出場も兼ねている選手、審判要員等は除く）。
- 各チームごとに参加者一覧表を提出し、IDを発行する。大会会場ではID着用とし、IDのない方は入場を認めない。

3. 大会会場で厳守していただく事項

- 入館時には手指消毒を行うこと。
- 会場内では、プレーしている選手以外は原則として不織布のマスクを着用とする。
- 食事は飛沫防止のため、1人でかつしゃべらず短時間で済ませること。人と向かい合っただけの飲食は絶

対に行わない。

- ・ 観覧席の座席は一つ飛ばしとし、館内での会話は控え、常に密にならないようソーシャルディスタンスを保つこと。
- ・ 会場でのシャワールームの利用は原則禁止とし、自宅や宿舎等に戻ってから利用すること。
- ・ ゴミはチーム単位で集めたりせず、各自全て持ち帰ること。
- ・ 観客席の指定や使用方法については、各会場ごとの指示に従うこと。

4. 競技中について

- ・ 競技上の注意事項等は、事前に大会要項や大会HPで確認すること。
- ・ コートサイドにカゴは設置しない。選手は試合前にバッグをコートサイドに置き、ドリンク、タオル等はバッグの中に収納して使用すること。
- ・ 選手同士や審判員との握手は行わない。
- ・ 団体戦のベンチ席は、間隔を広くし配置する。選手は各自使用する椅子を決め、自チームであっても他人の椅子には移動しない。また試合後は、自チームのベンチを消毒し退出すること。
- ・ アリーナ内の換気を実施する。その方法として、遮光カーテンで風を遮れるのであれば、常時その状態にする。それが不可能であれば、進行中の試合であっても中断し実施する（2~3時間ごと）。
- ・ コーチ席は、1席のみとする。
- ・ 各コート試合終了毎に消毒（主審・線審席）、コート面のモップ掛けを実施する（線審が担当）。
- ・ 主審、線審、得点係はビニール手袋を着用すること。

5. 体育館以外でのお願い

- ・ 大会期間中または終了後、複数人での食事会や飲み会等は禁止とする。（クラスター発生の事例が多いため。）
- ・ 大会期間中または終了後、観光等を禁止する。
- ・ 宿泊時は必ず1部屋につき1人で使用し、外出は必要最小限かつ短時間・最少人数とすること。また、会場以外での行動についても他大学との交流は行わない。

6. コロナウイルス感染者・体調不良者の対応

○言葉の定義

感染者：医療機関によりPCR検査等にてコロナウイルス感染症と診断を受けた者

濃厚接触者：保健所により濃厚接触者と認定を受けた者

体調不良者：検温時に体温が37.5度以上の者。または体調不良を申し出た者

チーム：エントリーでの単位であり、同一校でも男女は別とする。

【大会2週間前にチーム内で新型コロナウイルス感染者もしくは濃厚接触者が発生した場合】

- ・ 新型コロナウイルスに感染した当該者は参加不可とする。
- ・ チーム内で新型コロナウイルス感染者もしくは濃厚接触者が発生した場合は、必ず保健所による濃

濃厚接触者の有無等の判断をうけること。

- ・ 濃厚接触者となった参加者は、医療機関にて PCR 検査等を行い、陰性が確認され保健所が許可するまでは参加不可とする。
- ・ 濃厚接触者とならない参加者の参加等の可否判断については、医療機関等の指示を遵守した上で参加校の責任において行うことを原則とする。

【大会期間中にチーム内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合】

- ・ 新型コロナウイルスに感染した当該者、及び所属チームは参加不可とする。

【大会期間中にチーム内で濃厚接触者または体調不良者が発生した場合】

- ・ 濃厚接触者または体調不良者は参加不可とする。隔離の上、速やかに医療機関を受診すること。
- ・ 濃厚接触者または体調不良者が発生したチームの当該者以外の参加者の参加等の可否判断については、医療機関等の指示を遵守した上で参加校の責任において行うことを原則とする。参加する場合は、体育館内での行動制限、他大学選手との接触の禁止など、より厳格な感染対策を実施する。

【大会終了後にチーム内で新型コロナウイルス感染者もしくは濃厚接触者が発生した場合】

- ・ すみやかに事態の内容及び保健所の指示内容を主幹学連に報告すること。

チーム内に新型コロナウイルス感染や濃厚接触者が確認された時は、遅滞なく報告すること。報告内容に隠蔽や虚偽の報告があった場合は、次大会以降無期限で参加を認めない。

別表2

当日に関する確認事項(選手向け)	
<input type="checkbox"/>	外出前に健康状態確認シートは記入する(受付時に提出)
<input type="checkbox"/>	37.5℃以上で、体調に異変を感じた時には参加を中止する (棄権の時は会場に行かず、メール及び電話で伝える)
<input type="checkbox"/>	外履きは袋に入れて自分の手元に置く(下駄箱の使用しない)
<input type="checkbox"/>	観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて行い、席は移動しない
<input type="checkbox"/>	待機時など試合以外はマスク着用する。
<input type="checkbox"/>	ウォーミングアップは、距離を空けて行う。
<input type="checkbox"/>	コートへの入退場時は一定の距離を保った上で、指定の時間にコートに入る
<input type="checkbox"/>	挨拶の際は十分な距離を取り、審判・選手と握手は行わない
<input type="checkbox"/>	試合中、意図的な声出しを極力しない。
<input type="checkbox"/>	コートサイドには各自バッグ等を持参し、飲み物も各自のバッグに収容する
<input type="checkbox"/>	ラケット、タオルの貸借をしない
<input type="checkbox"/>	汗をコート・コートサイドに投げることは絶対にしない
<input type="checkbox"/>	汗拭きはモップもしくは所定の用具を使用し行う
<input type="checkbox"/>	飲料を万が一溢したときにはモップで拭き取る(自身のタオルを使用しない)
<input type="checkbox"/>	シューズの裏を手で拭くことはしない
<input type="checkbox"/>	プレーヤーまたはコーチとハイタッチ等を行わない
<input type="checkbox"/>	コーチングは一定の距離を保った上で、必要最小限に短時間で行う
<input type="checkbox"/>	更衣室での密を避けるためにも定員が設定されている場合は遵守する
<input type="checkbox"/>	更衣室の利用については、施設管理者や大会主催者が定める基準に従い、人数制限・利用方法を定める。
<input type="checkbox"/>	施設にある手指乾燥機は使用しない
<input type="checkbox"/>	試合が終了したら(負けたら)、試合を観戦や応援をせずに、速やかに帰宅する
<input type="checkbox"/>	全てのゴミの持ち帰り自宅で処分する(感染症拡散防止の観点から)

※感染症対策を遵守し、37.5℃以上あるなど体温に異常がみられる場合や、体調が優れない場合には大会会場へ行かずに棄権してください。クラスターを発生させないこと、最優先です。